

2009年度

科目名	朝鮮語Ⅱ		
担当教員	川本 理絵		
配当	文 2・教育2・人間2	コード	52070
開期	通年	講時	金曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	文化の違いと言語表現の問題		
目的と概要	授業は会話を中心に進めていきます。実際に役に立つ、日常生活の中で使われる基本的な会話表現を学びながら、それに沿った基礎文法を覚えていきます。また、韓国の映画や音楽など視聴覚資料を通して、韓国の文化に触れる機会をもちます。さらに、日本語と韓国語の表現の違いを取り上げて、言葉と文化はどのような関係にあるのかを考えます。		
成績評価法	平常点と小テスト(年5～6回実施)によって評価します。また、授業中に行う 会話練習の成果も考慮します。		
テキスト	『コミュニケーション韓国語』 長谷川由紀子著 白帝社		
参考書	『コミュニケーション韓国語 読んで書こう1』長谷川由紀子著 白帝社		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
1ー 2 文字の読み書きの復習 3 日常の挨拶 4 初対面の挨拶と自己紹介 5ー 6 指示・所有表現の会話 7 ロールプレイ 8ー 9 漢数詞と否定表現の会話 10 ロールプレイ 11ー12 固有数詞を使った買い物の会話 13 ロールプレイ 14 韓国の映画鑑賞 15 まとめ 16ー17 前期の復習(基礎文法の確認) 18ー20 存在の有無・年月日・曜日・年齢 21 年月日・曜日・年齢の会話 22 ロールプレイ 23ー24 時間の表現 25 時間の関係ことばを使った会話 26 ロールプレイ 27ー28 打ちとけた丁寧形 29 打ちとけた丁寧表現の会話 30 まとめ			